

東中小学校R5 学校評価まとめ（年度末評価）※（ ）は中間評価との差 赤字は前回より下がった項目

できている どちらかというときてきている どちらかというときていない できていない

【分析】前期に比べるとB層（どちらかというときと思う）が増加。、学習が進むにつれ難易度が上がっていることも要因か。

A 前向きに学び続ける力	授業場面	① 子どもは自ら課題を捉え、解決に向けて意欲的に取り組んでいるか		3.8 (+0.4)	【職員の声】 ○学習全般のレベルは上がっていると思う。特に対話、振り返り、練習の成果、互いの良さの部分で成長が見られた。 ○一人ひとり真面目に取り組んでいると思う。真面目過ぎて一つの考え方に固執する場面もあるが、子どもに合わせた取り組み方を見つけてあげられるとよいと思う。 ●課題提示、見通しの部分の児童のA評価が20%ダウン。毎時間示しているはずなのだが…。
		① お子さんは、意欲的に授業や行事に取り組んでいますか？		3.5 (-0.2)	
		① 授業の始めでは何を学ぶか理解してから取り組んでいるか		3.5 (-0.2)	
	家庭	⑨ 子どもはやる気をもって宿題や家庭学習に取り組んでいるか		3.3 (+0.2)	【職員の声】 ○家庭学習は昨年度より頑張っていると思います。 ○その子の力を出し切れるよう復習させることが大切だと思うので、家庭学習でもテストの前にノートにまとめることを促したい。 △家庭学習はグーンと伸びた子はいるが、取り組み方の個人差が広がってしまったように感じる。 【家庭の声】 ●宿題や家庭学習は声かけてからやることの方が多いです。 ●学年初めに比べると、自分から進んでやることがほとんどなくなりました。どうしたら意欲的に取り組んでくれるのか悩んでいます。
		② お子さんは自ら進んで家庭学習に取り組んでいますか？		3.2 (±0)	
		⑨ 宿題や家庭学習に工夫して取り組んでいるか		3.4 (-0.3)	

【現状と今後に向けて】
職員の意識として、授業場面において前向きに学び、成長を感じていることが分かる一方で、保護者や児童は前期よりも肯定的な評価に至っていない。各学年、学習が進むことにより内容も高度になっていくことから、より丁寧に「問いの吟味」をすることや単位の時間の「学習の意義」を具体的に示す必要がある。

B 失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力	主に授業場面	② 子どもは根拠をもとに意思決定し、自分なりの考えを表現することができるか（授業での見通しや個人思考）		3.6 (+0.1)	【職員の声】 ○学会でも国語等の発表でも練習すれば自信をもってできているし、自他ともにそのがんばりを認められていると思います。 △参観日などで決まったことの発表だけでなく、その場で意見を言ったり話したりする場面を見てもらうと「保護者質問④」の印象も変化していくのではないかと思います。 ●「自信をもって」の部分が少し弱いかなと思います。どんな場面でも自信がもてるように日常生活や学習で応援したいです。
		④ お子さんは自分の考えや意見を自信をもって伝えていきますか？		3.1 (-0.1)	
		② 予想を立てたり自力解決するときは、理由をつけてノートに考えを書いたり発表したりしているか		3.4 (±0)	
	主に行事	⑤ 子どもは自分の思いや練習の成果を自信をもって表現することができるか		3.9 (+0.4)	【現状と今後に向けて】 日々の学校生活で経験を積み上げていくことによって、着実に表現力は向上している。今年度から始まった西小との交流においても、回を重ねるごとに自然と交流する姿が見られ、効果を感じている。一方で児童の回答に「できていない」「どちらかというときでない」と答える層が出現していることから、個に応じた指導を心がける必要がある。
		⑤ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか		3.5 (-0.2)	

【分析】校内や知っている人にはできている。課題意識を子どもたちにどうもたせるか。

C 進んであいさつしよりよい人間関係を築く力	他者のよさを認める	⑥ 子どもは互いのよさやがんばりを見つけ、高め合う姿が見られるか		3.8 (+0.2)	【職員の声】 ○友達や仲間のがんばる姿を常にそばで見ていることで「自分も」と思えるのだと思う。 【職員の声】 ○ふれあい会の「あいさつプロジェクト」は子どもから自発的に行っているもので、よりよくなりたいという6年生の願いが伝わってくる。 △来客などが来た際は、まだ教師の後に続いてという姿が多く見られる。 △学校内では、初めての人やお客さんに挨拶ができる。（校外で）通りすがりの人などにはなかなか声が出ない。
		⑥ お子さんは他人のよさや他の考えを素直に認めることができますか？		3.2 (-0.2)	
		⑥ 友達のよさやがんばりを認め、よりよいクラスにしようとしているか		3.7 (-0.1)	
	進んであいさつ	⑦ 子どもはいつでも誰とでも心が通う挨拶をすることができるか		2.9 (+0.1)	【保護者の声】 うちの子だけでもかもしれませんが、挨拶はまだかなーと思います。ただ他の子は参観日などで積極的に挨拶してくれるので、立派にできていて偉いと思うことが多々ありました。 【現状と今後に向けて】 校内における様子が向上してきていることは、子どもたちの自発的な取組もよい影響をもたらしている。今後も学校外での活動や人とのかかわりが増えていくことから、今できていることをどのように発揮したらよいのか、子ども自身に考えさせ、行動させる仕掛けが必要。
		⑦ お子さんは、家族や地域の方に進んで挨拶をすることができますか？		3.3 (±0)	
		⑦ 誰にでも大きな声で自分から挨拶ができていますか		3.6 (+0.1)	

D 対話や体験を通して策を見出す力	主に授業場面	③ 子どもは対話を通し、相違点や共通点、解決策を見つけ出すことができるか（集団思考）		3.1 (±0)	【職員の声】 授業だけでなく、係や委員会などでもこれまでの経験を生かした案を考えていると思います。 【現状と今後に向けて】 今年度は校内研修で「表現力の向上」をテーマの一つにしています。各担任は今まで体育科、国語科、算数科でテーマを意識した研究授業を実施しました。その成果を研修日に話し合い、よりよい授業の構築にむけて進めているところです。日常では、後記もゲーム感覚の楽しい活動（トークトレーニング）を継続して続けていきます。
		③ 話し合うときは自分の考えと友達の考えの相違を意識したり、よりよい考えがないか話し合うことができるか		3.7 (-0.1)	

D 対話や体験を通して策を見出す力	主に家庭	⑩ 子どもは経験を生かしてよりよい案を考えることができるか		3.3 (+0.2)
		⑥ お子さんはご家族や地域の方と楽しく話をしたり交流したりすることができていますか？		3.4 (-0.2)
		⑩ 家族や地域の方と楽しく話をしたり交流したりしていますか？		3.7 (±0)

【分析】生活習慣はやや後退、粘り強さはこの調子で

E めあて達成に向け 粘り強く取り組む姿	生活習慣	⑧ 子どもは基本的な生活習慣が身に付いているか		3.3 (+0.3)	<p>【現状と今後に向けて(生活習慣)】 保護者児童共に「どちらかというとできていない」と回答した層が増加している。冬季間に入ったことも影響していると考えられるが、学校としては保健指導や保健だよりなどを通じた啓発を続けていく。</p>
		⑨ お子さんは規則正しい生活をしていますか？		3.2 (-0.1)	
		⑧ 規則正しい生活をし、自分のことは自分でしているか		3.1 (-0.2)	
	粘り強さ	⑪ 子どもはめあてに向かって行事や体力づくりに粘り強く取り組んでいるか		3.8 (+0.4)	<p>【職員の声】 ○基本的な生活習慣については学校ではまずまずできていると思います。(個人差はありますが) ○行事の取組を振り返り、次の行事のめあてに生かせるかどうかはわからないが、一つひとつのめあてに対し、事後の振り返りはできていると思う。 ○めあてを意識させることができれば粘り強く取り組んでいるので、事あるごとにじぶんがたためめあてを確認させたり、口に出させたりするとよいと思います。</p>
		③ お子さんは物事に粘り強く取り組むことができますか？		3.0 (-0.3)	
		⑪ めあてをクリアできるように粘り強く取り組んだか		3.8 (+0.2)	

【分析】学校の取組については概ね高評価をいただいている。ご指摘いただいた部分は改善、検討します！

学校に取り組みに対する設問	【学校の取組】	⑩ 学校は地域の方と連携したり地域のフィールドを生かした教育活動を行っていますか？		3.8 (+0.1)	<p>【現状と今後に向けて】 概ね肯定的な評価をいただいた。 ○学校でよく教育してくださり、よいところを伸ばしてもらっています。 ○とりあえずは今の取組を続けていければよいと思います。 ○学校で何かあれば、すぐに詳しく伝えてくれてますので安心しています。 ○地域との交流やいろんな人とふれあう機会があつて、とてもいいなあと思います。 ○少人数なので、たくさんの方の経験させてもらっているなと思います。 △年間予定表の変更だけ早めにわかると助かります。でも東中でよかったと思う事ばかりです。ありがとうございます。 △算数と国語は学年別で別部屋で教えてほしいと思います。</p>
	⑪ 学校はお子さんの様子や出来事を積極的に伝えていきますか		3.8 (+0.2)		
	⑫ 学校は感染症対策やいじめ防止など学校生活に関わる危険管理に努めていますか？		3.9 (+0.1)		
	⑤ お子さんは、学習した内容をよく理解し身に付いていますか？		3.2 (-0.3)		

学校評価から見える東中小学校の今

- ①家庭学習に取り組むモチベーションの維持に若干課題が残るとともに個に応じた指導の在り方を校内で統一できない部分も見られた。(A 前向きに学び続ける力)
- ②行事や交流における表現力の向上が見られた一方で学習場面では「自信をもって」の部分が若干弱いとする指摘もあった。(B失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力、D対話や体験を通して策を見出す力)
- ③冬季間に入り、生活習慣に対する課題を感じる回答が保護者、児童とも増加した。(Eめあて達成に向け粘り強く取り組む力)

チームで取り組む改善・継続ポイント

- ①家庭学習については基本的に本年度の取り組み方を継続していく。次年度は児童自身が学びの質の向上を振り返ることができるようにICTでの学習を効果的に取り入れて計画を進める。また指導の個別化に対してはNRT(学力テスト)に付属しているアシストシートを活用することを全校で統一して進めることを徹底していく。(A 前向きに学び続ける力)
- ②研修部主導で全校で取り組んだトークトレーニングには一定の成果があり、ベースづくりとして継続していく。根拠を基にして深く考える授業を構築していく。また、個別最適な学びと協働的な学びの中で、着実に知識や技能を高めることを通じて自信をもって表現できる姿を目指す。(B失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力、D対話や体験を通して策を見出す力)
- ③めあてに対する粘り強さについては今年度の取り組みが効果的だったため次年度も継続していく。生活習慣の改善については学級通信・学校だより・保健だよりを通じて啓発を図るとともに、CSとも方策について協議していく。(Eめあて達成に向け粘り強く取り組む力)